

別紙様式3

平成29年度 第1回 「魅力豊かな高校づくり推進協議会」 議事要旨

日 時	平成29年5月30日(火) 13:30~15:15
場 所	岐阜県立揖斐高等学校
出席者	<p>国枝 慎太郎 岐阜県議会議員 牧村 範康 岐阜県議会議員 富田 和弘 揖斐川町長 野原 靖 揖斐川町教育長 三島 晃照 揖斐川町教育委員会社会教育文化課課長 服部 均 揖斐川町商工会会長(欠席) 小野島 英明 揖斐建設業協会事務局長 横田 修一 揖斐郡北西部地域医療センター長 松本 信弘 揖斐川中学校長 折戸 克明 北和中学校長 錦野 悦朗 揖斐高等学校同窓会長 加藤 智晃 揖斐高等学校PTA会長 高見 恵美子 揖斐川町教育委員会社会教育文化課課長補佐</p> <p>布施 明彦 岐阜県教育委員会教育総務課長</p> <p>鈴木 英司 校長 乙津 真由美 教頭 和田 摂子 教務主任 下野 正人 生徒指導部長 松岡 順 特別活動部長 松野 早苗 生活環境科主任 安藤 鐘司 教務地域連携担当者</p>
議事概要	<p>1. デュアル実習について(実習生の実習報告を受けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が自ら追究して取り組むことができるのは立派なことである。 ・デュアル実習の生徒は特に学校で選抜した生徒たちなのか。 <担当教員より> デュアル実習では、社会の中で学ぶものの質が学校とは違う。学校では学べないことを多く学び、自己主張ができるようになったり、自から歩む姿勢ができて成長している。希望者であり特別な生徒ではないが、皆頑張っている。 <p>2. 揖斐高校の現状と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で若い担い手を確保することができない現状があるが、スペシャリストを育てることも必要である。介護福祉士の資格は大学や専門学校に進まなければ取れないのが現状だと思うが、高校で介護職員初任者研修の130時間の授業を行えるのか、また、どれほどの生徒がその分野に進むのか。 <担当教員より> 週8単位の授業を組み、生徒は頑張っている。昨年、介護の分野には進学と就職にそれぞれ3名程度進んでいる。 ・現状は4クラス426名であり定員割れをしている。少子化の影響のある中で、どういう形で残していくのか、子どもの数の変化等の資料が欲しい。地域との連携

には更に磨きをかけて取り組んで欲しい。また、中途退学した人が学び直しをできる受け皿的な学校も地域から求められているのではないか。

- ・「さざれ石」をイメージしたお菓子を考え、イベントで販売できるようにしてもらいたい。この10年ほどの揖斐高校と揖斐川町との関係を見て、MSリーダーズなど多くの生徒が活躍している。町として、もっと早く活躍の場を作るべきであった。現在、揖斐川町地域交流センター「はなもも」ができ、地域で集う場ができた。揖斐高生を応援しPRする場を作り、連携をもっと密にしていきたい。町は人口減少に悩んでいる。若者は他の地域の学校に進学し、帰ってこない。地元には先端技術を持つよい企業があり、若い技術者も育てているので、人を送ってもらいたい。地元に戻り、地元で働いてほしい。
- ・揖斐高校は地域と結びついた学校である。揖斐特別支援学校の運動会に揖斐高生も参加してくれた。揖斐川中学校と北和中学校の2校と連携し、他の2校（谷汲中学校と坂内中学校）との学習面談もしていただいているが、揖斐高校の良さを保護者にはなかなか分かってもらえていない。今年度は中学2年生から学習成果発表会を見る機会をいただき、有り難い。サマースクールや学習面談指導も役に立っている。大正8年に創立した伝統ある学校であり、今後どうしたらよいか、一緒に考えていきたい。
- ・中高連携の立ち上げから揖斐高校の努力を見てきた。色々なアイデアを出し、共に悩み、できることを一つ一つ増やしながら、連携を強化してきた。PTAでの学校見学を今年もぜひお願いしたい。今回のデュアル実習の報告を見たら、保護者は入学させたいと思う。
- ・高校の魅力は、中学生が行きたい、行ってよかったと思えるか、保護者が行かせたい、行かせて良かったと思えるかである。生徒や保護者の声を発信していく場を作ることも必要である。揖斐高校はとても魅力のある成果を上げており、中学校でもPRしていきたい。
- ・ビジネスコースがあるが、色々な業種に対応でき、多様な生徒を受け入れるカリキュラムにするなど学科の見直しも一つの方法である。
- ・昨年、揖斐川町の行事にほとんどの科に参加していただいた。青少年育成町民大会では、司会進行に加え、プロジェクターの操作や舞台展開までしてもらった。高校生の活躍に町民の皆さんが感心している。大和地区の公民館館長の手紙にあるように、他の地区でも高校生に運動会や文化祭に参加してもらいたい。役場の行事にも高校生からの企画があれば取り入れていきたい。
- ・以前、揖斐高生が小学生に浴衣の着付けを分かりやすく指導するのに感心した。子ども会ジュニアリーダー研修会など色々な場に出て行って育っていく。高校生が主体となって取り組めることがあれば支援していきたい。
- ・建設業界は様々な改善を行っているが、若手の人材が不足している。デュアル実習は学校がカリキュラムに取り入れ、指導もしていただいているが、受け入れる企業側が学生の受け入れ態勢を十分に構築できていない。デュアル実習を通して一人でも多くの学生に地元で就職してもらえようようにしたい。
- ・授業風景やデュアルの生徒の報告を見せてもらい、生徒の一生懸命に取り組む姿と指導に当たる先生方の一生懸命さに心を打たれた。地域医療講座の体験実習では各職種に当初の予想を超えるたくさんの生徒が参加し、熱心に学んでいただけ嬉しかった。さらに、当センターの職員からは、生徒から刺激を受けとても良かったという感想があった。地域を支える人材を地域で育てていきたい。そのため何かお手伝いできることがあればやっていきたい。
- ・デュアル実習の生徒とお話しでき、いい意味で刺激をいただいた。この地域は東

- | | |
|--|---|
| | <p>海・東南海地震、福井県の原発が事故になれば、風向きによっては危険である。揖斐高校は揖斐川町と防災に関わる協定を結ぶなど、地域に貢献する学校である。</p> <ul style="list-style-type: none">• 子どもが揖斐高校に通っているが、学校に行くのが楽しい、といつも言う。揖斐高校に来させて良かったと思っている。2年後は100周年を迎える。PTAとして何かできること、微力ながら協力させていただく。• 少子化が進む中で、県内各地の学校で地域と連携した取組が行われている。地域によって色々な関係があり、色々な学校がある。地域の色々な大人に先生になってもらい、この地域で育ってよかったと感じ、自信を持ち、役に立とうという気持ちになれば、地元を愛する気持ちが生まれる。それぞれ、どういう取組をすれば活発になるかを考えていただき、地域から学科の見直しの声が高まってこれば県でも検討していく。 |
|--|---|

※ 箇条書可。枠は必要に応じて拡大または縮小いただいて結構です。